



e q u a l

イ コ ー ル

2020.3 第52号

福山市男女共同参画センターの愛称は「イコールふくやま」です。イコールとは「男女平等」を表しています。



男女共同参画フォーラム 講師 吉川 美代子さん

- ★ 福山市男女共同参画推進表彰
- ★ 福山市男女共同参画フォーラム講演会
- ★ 登録団体研修会
- ★ 男女共同参画推進員に聞く
- ★ イコールふくやま相談室から

アンケートのお願い
(巻末にあります)



2019年度(令和元年度)福山市男女共同参画推進事業者表彰

福山市では、ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者の中で男女共同参画の推進に向けて、特に優れた取組をしている事業者を表彰しています。今年度は「株式会社カスタム」と「株式会社QOLサービス」の2社に決定し、2019年(令和元年)10月5日「福山市男女共同参画フォーラム2019」で表彰しました。ここに、表彰された事業者の取組をご紹介します。

株式会社カスタム

こんな所がスゴイ！



福山市副市長と記念撮影

《子どもや子育て中の家族を対象としたイベント・講座の開催》

毎年、社内外の子どもを対象に、モノづくりの楽しさや地域のつながりを伝えるため、「WAZA-ONE GP (ワザワングランプリ) 遊びのオリンピック」を開催している。

《女性を積極的に採用している》

直近3年間、全ての年度で採用女性比率が30%を超えている。また、技術職にも毎年1人以上女性を採用している。



《女性がいない又は少ない職域に女性を積極的に配置している》

女性の少ない部署に積極的に女性を配置しており、特に営業部と製造部で活躍する女性が増えている。また、製造業務では産業用ロボットを導入して女性の体力に配慮した取組を行っている。

◎所在地	福山市御幸町大字中津原1808番地1
◎業種	製造業・精密鑄造部品の製造販売
◎設立	1970年(昭和45年)2月
◎従業員数	205人(男性143人, 女性62人) ※ふくやまワーク・ライフ・バランス認定時

ふくやまワーク・ライフ・バランス認定制度ってどんな制度？

男女が働きながら「仕事と家庭の両立」を実現するための支援に積極的に取り組んでいる企業を認定するものです。認定されると、企業のイメージアップや、幅広い人材確保、社員の定着に繋がるほか、本市が行う入札における加点や、社内の就業環境改善に関する補助金等の特典があります。

(認定基準)

仕事と家庭や子育て・地域活動との両立支援、女性の採用や能力発揮・職域拡大などに積極的に取り組む事業を認定します。

認定事業者の申請は随時受付しています。詳しくは、本市ホームページ(産業振興課内)をご確認ください。

福山市男女共同参画推進表彰とは？

本市では、「男女共同参画推進条例」に基づき、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざして、様々な取組を行っています。

この男女共同参画に関する取組の一層の推進を図るため、年に1回開催する男女共同参画フォーラムの会場で表彰しています。

株式会社 QOL サービス

こんな所がスゴイ！



福山市副市長と記念撮影

《託児施設の施設運営》

事業所内保育施設「ありがとう保育園」を運営している。
リハビリテーション施設等と併設であり、職員や入居者など
様々な人と交流ができる施設である。

《男性の育児・介護休業の取組を促進している》

男性職員の配偶者が出産した場合に、休暇の取得の希望が無いか
聞き取りを行い、男性の休暇取得に対応できる体制の整備が出来ている。



《仕事の配分や教育訓練において男女同様に扱っている》

就業規則に教育訓練休暇制度を定め、年間計画に基づき男女平等に
教育・研修機会を与えている。

- ◎所在地 福山市春日町浦上1205
- ◎業種 出版業・介護事業・教育事業
- ◎設立 1998年（平成10年）4月
- ◎従業員数 295人（男性26人、女性269人）※ふくやまワーク・ライフ・バランス認定時

NEW

新たな「ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者」を紹介します。（2019年7月2日以降）

- ☆ 株式会社アイエスツール
- ☆ アドバンスシステム株式会社
- ☆ 大木建設株式会社
- ☆ 有限会社オノダ
- ☆ 有限会社光陽機械製作所
- ☆ 興和建設工業株式会社
- ☆ ジェイ・ワークス株式会社
- ☆ 第一環境株式会社 福山営業所
- ☆ はなえみ歯科
- ☆ 早川ゴム株式会社
- ☆ ミタカ有限会社

※12月27日現在、117事業者が認定されています。



「福山市男女共同参画フォーラム2019」が開催されました

講演会「私のアナウンサー人生～女性の働き方、自分の生き方～」



講師：吉川 美代子さん

日時：2019年(令和元年)10月5日(土) 13:30～15:30
場所：広島県民文化センターふくやま

キャスター・アナウンサーの吉川美代子さんをお迎えして「男女共同参画フォーラム2019講演会」を開催しました。

「私のアナウンサー人生～女性の働き方、自分の生き方～」と題して、「機会の平等」における男女共同参画について、吉川さん自身の経験などを交えてお話いただきました。

1977年TBSに入社後、37年間「ニュースコープ」「ニュースの森」「CBSドキュメント」など多数の報道番組・情報番組でアナウンサー、キャスターとして活躍。現在ではテレビ、ラジオ、講演など多方面で活躍中の吉川美代子さんにお越しいただき、自身のアナウンサー人生のお話を交えながら、女性の働き方や男女共同参画のあるべき姿についてお話しいただきました。

当日は、多くの市民の皆さんが来場され、講師の豊かな経験からのお話に興味深く聞き入っていました。

参加者の皆さんからは「とても分かりやすい良い話でした」「男性だから女性だからではなく、個人が基本であるという考え方に嬉しく思いました」など、大変ご好評をいただきました。



▲笑いを交えながら講演される吉川さん

登録団体研修会 視聴覚教材を見て考える！「夫の定年 妻の定年」

「イコールふくやま」に登録している団体・グループの研修会を9月7日(土)に開催しました。「人生100年時代」と言われる今、「定年」「老後～人生の長い午後」という言葉には、さまざまなとらえ方、考え方、問題点などがあります。

視聴覚教材「夫の定年 妻の定年」を鑑賞後、それらをテーマにグループワークを行いました。身近な問題でもあり、高齢社会の今、どのような関係をつくっておかなければならないかなど活発な意見交流がおこなわれました。

グループワークの後、福山市立大学の正保教授から「改めて、

家族って何だろう」と題して講義をしていただきました。

「時間をかけて定年後をつくりあげていかなければすぐには出来ない。」「日々の生活との折り合いをつけながら100年をどう生きるか・・・」「身近な人と話したり励ましたりしていきたい」「人生最後の5年を輝いていくことは、一日一日を大切に生きること。」などいろいろなお話を伺いました。



今年度の男女共同参画フォーラムは、イコールふくやまに登録して活動している団体から17人の実行委員が参画し、団体研修会と講演会の企画運営を行いました。また、福山市男女共同参画センターを始めとする市行政の多大な協力支援のもと「協働」で2つのイベントを盛大に終えることが出来ました。

4月から始まった実行委員会は、9月まで6回の実行委員会を開催しました。私たちが日々の生活や活動の中で感じている「想い」を話し、今日の男女共同参画に必要なテーマはなんだろうかと意見を出し合うことから始めました。

団体研修会では、福山市の視聴覚教材の中から、実行委員一人一人が意見を出し合い絞り込んでいき、「夫の定年、妻の定年～実りある老後のために～」に決めました。

その教材はなんと30年前に作成されたもので、視聴後には活発な意見交換が行われ、

「30年前と比べると、最近は変わってきた。」と感想を述べられる方が多く、正に男女共同参画事業推進の成果がそこに見受けられました。

また講演会では、女性としてキャリアを積み上げて来られた吉川美代子さんに講演をお願いしました。毎年、実行委員会では何人か講師候補を挙げ、委員会の意向と講師の調整が可能な方にお願いをしています。どの講師も色々な経験、実力をお持ちで選考をととても楽しみにしています。

常日頃私たちには色々な機会が与えられています。その機会に出会ったとき、まずはやってみることが大切だと思います。一途に目標に向かってコツコツと努力を重ね、男性は、女性はこうあるべきだという見方の色眼鏡を外すことで、みんなに優しく、相手を思いやることに繋がります。そしてこれが男女共同参画のスタートと、この2つのイベントを通じて学びました。

新着図書を紹介

【ご利用ください】 「イコールふくやま」では、男女共同参画に関する図書の貸し出しを行っています。

スクールセクハラ 池谷 孝司 (著) / 幻冬舎

なぜ教師のわいせつ犯罪は繰り返されるのか？



学校という異空間が事件を生み、隠蔽し、被害者を追い込んでいる。子どもたちを育てようと教師になったはずの人たちが、なぜ子どもをつぶすようなことをするのか。学校はどのようにして隠蔽に走ってしまうのか。埋もれてきたSOSを受け止め、今こそ考えたい。普通にしていたのではなかなか聞けない子どもたちの悲鳴を。

女性のいない民主主義 前田 健太郎 (著) / 岩波新書

政治の見え方を痛快に転換！



なぜ、民主国家の日本で、男性の支配が行われているのか。他の国は、なぜ日本のようにならなかったのか。

日本では、女性が権力を握ることを難しくする要因が、なんらかの形で働いているのか。政治学を別の視点から捉えなおせば、政治そのものも全く違った形で見えてくるだろう。

「子どものネットトラブルに青ざめる」 長谷川陽子 / アイエス・エヌ	「どうなってるんだろう？子どもの法律」 山下敏雄, 渡辺雅之 / 高文研	「虐待が脳を変える」 友田明美, 藤澤玲子 / 新曜社
「アサーションの心」 平木典子 / 朝日新聞出版	「セクハラ・サバイバル」 佐藤かおり / 三一書房	「災害支援手帖」 萩上チキ / 木楽舎

この他にも多数の本が入っています

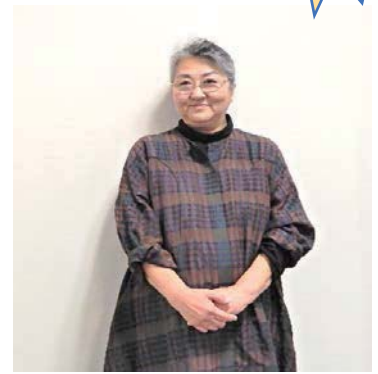
福山市男女共同参画推進員に聞く

第2弾

出前講座名：「べきである」から解き放たれて笑顔の子育てを!!

～不登校だって大丈夫～

男女共同参画推進員：広中 妙 さん



出前講座資料（著書の抜粋から）



Q. 男女共同参画推進員になったきっかけは？

自分が子育て中に経験した息子の不登校の体験をもとに、しんどい思いをしているお母さんの気持ちが少しでも楽になればと考え、2000年に本を出版しました。しかし、お母さん達のしんどい状況は変わっていないと感じ、本の他にも「うちはこうだったよ」という体験を伝える場があればよいなあと感じていました。家族それぞれが、「べき」にしばられているからこそしんどい思いをしているので、その気持ちを楽しめることができればとの思いから、チャレンジすることにしました。

また、自分が学びたいという気持ちと、役割（母・妻）とは別の自分自身と向き合ってみたいという考えもありました。

Q. 講座ではどんな事に気をつけていますか？

教え諭す・・・ではなく、私の体験を伝えることで、何かを感じたり、気づききっかけにしてもらえたらと思っています。「べき」にしばられていること、自分のこだわりや、とらわれていることを知ってもらうことで、こだわりから解放されて気持ちが楽になると思います。そして自分にゆとりができると、相手の思いを受け止めることが出来るようになり、受け止められた相手も解放されてお互いに楽になることができます。

そのためには、知識も必要で、講座の中で伝えるようにしています。

Q. 講座の印象はどうか？

1人の母としての目からみた子育ての体験を講座にしています。受講された方からも、どこかに共感をいただける部分があるようで、うれしく思っています。

☆最後に講座のアピールを☆

これからの子育て世代の方に、失敗・反省も含めた話を伝えながら、「こうだったよ。大丈夫だよ。」と伝えていきたいです。毎日を笑顔で過ごすための一助となればうれしいです。

推進員を養成する「人材育成セミナー」開催

福山市では、様々な分野への女性の積極的な参画、女性の能力開発や人材育成など、男女の区別なく一人の人間としていきいきと生活し、お互いに尊重し助け合っていく男女共同参画社会の実現の為にリーダーとして活躍していただく男女共同参画推進員の養成を実施しています。

男女共同参画推進員に登録されると、男女共同参画の啓発を目的に企業や地域社会等で出前講座を行っていただくことになり、2020年（令和2年）1月現在19人の推進員が活躍しています。

2019年度（令和元年度）は養成講座を開催し、2020年度（令和2年度）は全ての市民の方を対象に、「男女共同参画基礎講座」を開催する予定です。

男女共同参画推進員になるまで

人材育成セミナー「男女共同参画基礎講座」（隔年開催）を受講し修了する。



人材育成セミナー「男女共同参画推進員養成講座」（隔年開催）で出前講座を作成。



男女共同参画推進員として、企業や地域等へ講師として出向き、出前講座を実施する。



～DVと児童虐待の防止～

1999年（平成11年）に男女共同参画社会基本法が制定されて20年が経過しました。男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の形成促進のため、各種広報啓発活動も展開されています。

毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。今年のテーマは「DVと児童虐待の防止」でした。

DVと児童虐待は同じ家庭で同時に発生している場合があります。子ども自身が直接暴力を受けている場合は当然ですが、子どもの見ている前で夫婦間で暴力を振るうこと（面前DV）も子どもへの心理的虐待にあたります。

また、DV被害を受けている人は、加害者に対する恐怖心などから、加害者の子どもに対する暴力を制止することができなくなる場合や、継続し

てDV被害を受けていると感情が麻痺し、加害者に言われるがまま子どもに虐待してしまうこともあります。DVや児童虐待によって、家族間の信頼関係は崩れていきます。

DV被害者の多くは女性で、この背景には個人の問題として片付けられないような社会的・構造的な問題が在ると思われます。

長い間社会によって作り上げられた性別による役割に関する思い込みは、この20年間でどれだけ認知されたのでしょうか。DV行為も児童虐待にあたり、女性と子どもの問題は深刻な社会問題ともなっています。

暴力から離れたら解決ではなく、離れた後にこそ、母子一体でのケアが必要であり、重要です。暴力によって傷ついた母、次世代の子どもたちの健全な成長を取り戻すためにも今一度、男女共同参画社会の基本に立返り、何が問題なのか、を相談者と一緒に考えていきたいと思えます。

アンケートのお願い

いつも情報誌「^{イコール}equal」を読んでいただきありがとうございます。皆さんの意見を今後の情報誌づくりに活用するため「アンケート」を実施します。ご協力をお願いします。

回答者の中から抽選で20人に「男女共同参画記念講演会」の招待券をプレゼントします。

右のはがきの回答欄に記入し切り取って投函してください

- Q1 あなたの年齢は？
 Q2 あなたの性別は？ ※回答したくない場合は記入不要
 Q3 あなたのお住まいは？
 Q4 情報誌「^{イコール}equal」をどこで入手しましたか？
 Q5 現在、仕事をしていますか？
 Q6 今回の記事の中で役立った情報はどれですか？（3つまで）

- ①男女共同参画推進表彰企業 ②ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者紹介 ③男女共同参画フォーラム講演会
 ④登録団体研修 ⑤新着図書の紹介 ⑥男女共同参画推進員に聞く ⑦推進員を養成する人材育成セミナー ⑧イコールふくやま相談室から ⑨イコールふくやま相談のご案内

Q7 情報誌「^{イコール}equal」の内容について教えてください。

- 【字の大きさ】①大きい ②ちょうどいい ③小さい
 【内容】①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい
 【情報量】①多い ②ちょうどいい ③少ない
 【デザイン】①読みやすい ②ふつう ③読みにくい

Q8 ご意見を自由にお聞かせください。（例：欲しい情報等）

締切日：2020年4月30日（木）

キリトリ ✕

【アンケート回答欄】

*左側の質問にお答えください。

- Q1 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代以上
- Q2 男性 女性
- Q3 福山市内 福山市外
- Q4 公共施設（市役所、支所等） 図書館
公民館、コミュニティセンター・館、交流館
イベント・研修 民間施設 その他
- Q5 している していない 求職中
- Q6 () () ()
- Q7 【大きさ】 ① ② ③ ()
 【内容】 ① ② ③ ()
 【情報量】 ① ② ③ ()
 【デザイン】 ① ② ③ ()

↓理由

Q8

「私と男女共同参画との関り」

今から21年前、私は『青少年女性課女性係』を命ぜられました。当時の青少年女性課は、青少年係と女性係の体制で、女性係は係長と私の2人だけで、男女共同参画という言葉も広く認識されておらず、「女性係？何をすればいいの？」というのが素直な気持ちでした。

配属当初は、ジェンダー、ステレオタイプ、固定的性別役割分担意識、ドメスティック・バイオレンス等々初めて聞く言葉のオンパレードで、係長から与えられた資料で男女共同参画の基本を必死で学んでいったことが思い出されます。

時が経ち、さまざまな職場を経験する中で、今、担当部長として再び男女共同参画行政に携わっています。

現在、福山市男女共同参画基本計画も第4次が策定され、DV防止法や女性活躍推進法が制定されるなど、男女共同参画の実現に向けた体制整備も進み、女性の社会進出も大きく前進しています。しかし、真の男女共同参画社会を実現するためにはまだまだ解決すべき課題も山積しており、引き続き、市民の皆様と手を携えあって着実に前進してまいりたいと考えています。

スポーツ・青少年女性担当部長 佐藤

キリトリ ✂

郵便はがき

料金受取人払郵便

福山局承認

44

差出有効期限
2021年4月
30日

〒720-8751
福山市東桜町3番5号
福山市 市民局 まちづくり推進部
青少年・女性活躍推進課 行



ご住所

お名前

※講演会の招待券の抽選を希望されない場合は匿名でも大丈夫です。

【イコールふくやま相談のご案内】

DV（配偶者・恋人などからの暴力）夫婦関係、離婚、セクハラ、性別による差別などの相談を受けます。相談員があなたの悩みに寄り添い、ともに考え、あなた自身で解決するための糸口をともに探ります。必要に応じて、公的制度の利用などについての情報提供や紹介もおこないます。

※プライバシーは厳守します。

平日相談（要予約） 084-973-8896 電話相談・面接相談	土・日曜相談（要予約） 084-923-9638 電話相談・面接相談
月・水・木・金曜日	午後1時～午後5時 （祝日は除く）
午前10時～午後5時 （祝日は除く）	
火曜日	
午前10時～午後7時 （祝日は除く）	

※ 相談は、ご予約をしていただいても、少しお待ちいただく場合がありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ・ご予約】

相談予約電話番号 084 - 973 - 8896

※相談予約は上記平日相談の時間内をお願いします。
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

福山市男女共同参画センターのご案内 （愛称：イコールふくやま）



「イコールふくやま」では、男女共同参画社会を実現するため、各種講座・セミナーの開催、相談、情報提供、貸館など様々な事業を行っています。

〒720-0067

* 福山市西町一丁目1番1号 エフピコRiM地下2階

● 休 館 日 / 祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

● 開館時間 / 午前10時～午後8時

● 電 話 / 084-973-8895 ● FAX / 084-927-9121

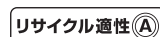
● 相 談 / 084-973-8896

* ご来館は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

編集・発行 福山市青少年・女性活躍推進課

（福山市男女共同参画センター 愛称：イコールふくやま）

福山市 HP <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>
E-Mail seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。